

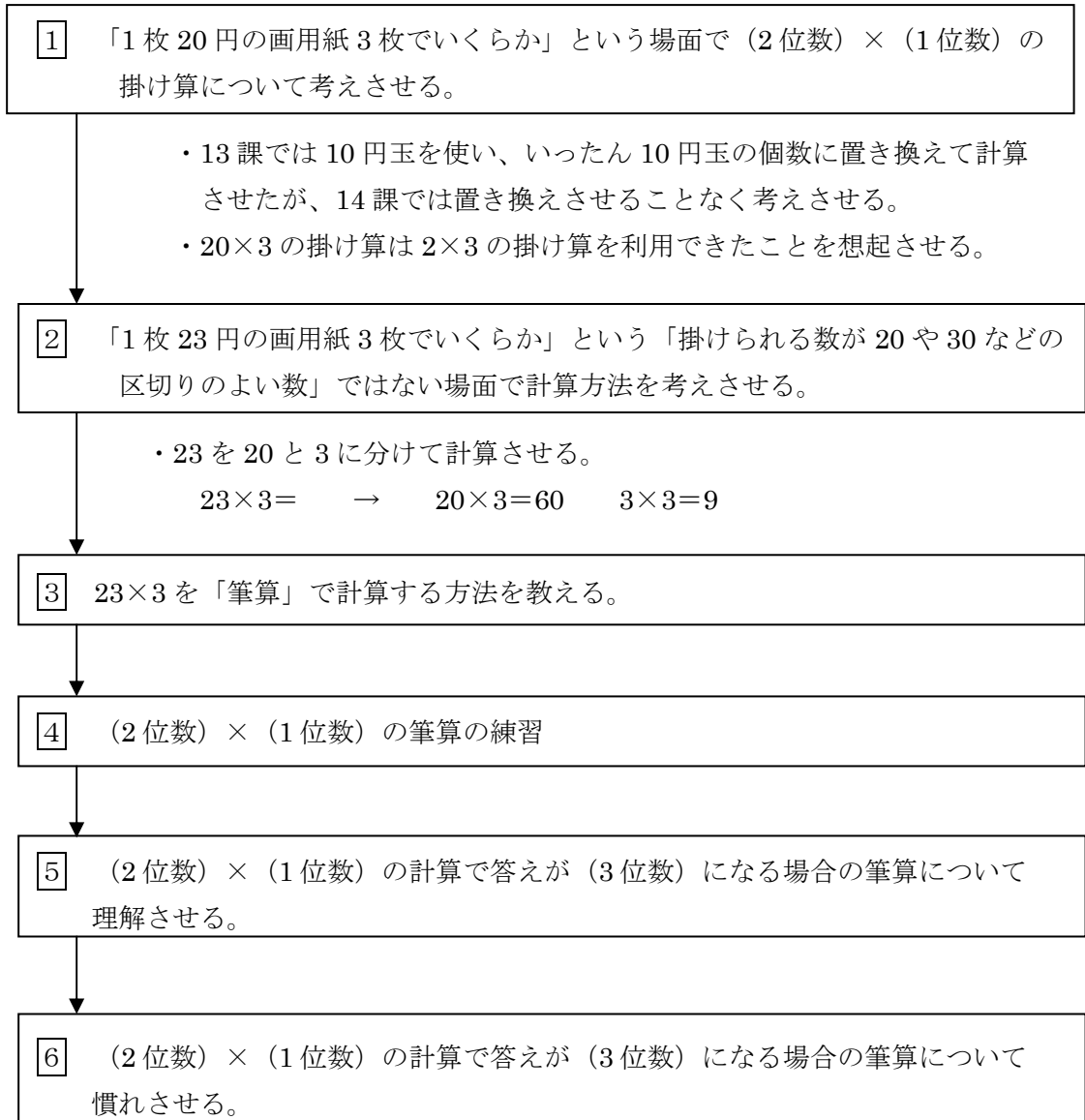
指導ポイント&ヒント

第14課 「23×3のかけざん」

- 【指導内容】 ① (2位数) × (1位数) の掛け算の筆算の方法を理解する。
 ② (2位数) × (1位数) で答えが3位数になる場合の計算方法を理解する。
 *十の位で繰り上がりのある計算は15課に回した。

- 【日本語】 ① 算数でよく使われる語句「代金」。算数特有の言葉「筆算」。
 *理解が難しい課だと思われるので、新しい文型は使わなかった。
 *すべての課で行った配慮だが、この課でも「同じ場面」で説明を繰り返すことによって、「同じ言い方」を何度も目や耳に入れるようにした。

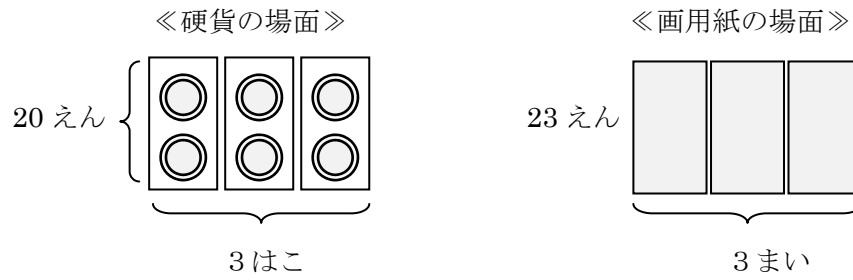
【概念図】



- 【配慮事項】 9課までで「掛け算の仕組み」が理解できたはずなので、10課からなるべく教科書に近い教え方にしました。しかし、教科書は既知のものとして省略してある物事があるため、この課では次のような点に配慮して教科書の書き換えをしました。
 ①今まで10円硬貨や100円硬貨で計算をさせてきたが、この課から「物の代金」という

場面で(2位数) × (1位数)の掛け算を扱い始めた。

②しかし、場面が変わることによる混乱を避けるため、図は硬貨の時と似せて描いた。



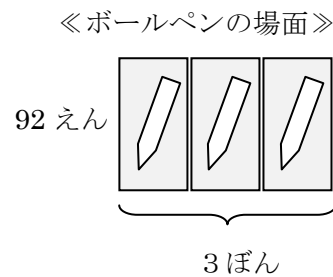
③画用紙の場を下図-1のように分けたが、この分け方で分からない子どもには下図-2のように硬貨を書き入るとよい。



《図-1》

《図-2》

④買う物が、画用紙からボールペンに変わった場面でも、今までのイメージで考えられるように図を似せて描いた。



【注】問題文で「～を～本買いました。代金はいくらになりますか。」と書いてあるのには指導者は違和感を感じないと思うが、問題文の下(ひっさんで やってみよう)のところでも、「代金はいくらになりますか。」と書いてあることには違和感を感じる方もおられることと思う。

筆算が完了したところで、つまり答えが出たところにもかかわらず「いくらになりますか。」と問うのは確かに不自然だが、問題文では「なりますか」を使い、筆算場面で「なりましたか」を使うと子どもが混乱するのではないかと心配する声もあり、「なりますか」で統一してみた。



14課/Lesson 14/Leksyon 14

ようごとぶん / Words and phrases / Mga Salita

ようご	Words	Mga salita
がようし	(white/blank) paper	papel
かう	buy	bumili
だいきん	cost; price	presyo; halaga
ひっさん	vertical form of calculation	pagkalkula; written calculation
どんな	how	Ano'ng klase
かたち	form/shape	paraan; hugis
かきかえる	rearrange/rewrite	isulat (sa ibang paraan)

ぶん	Phrases	Grupo ng mga salita
がようしを 3まい かいました。	I bought 3 pieces of (white) paper.	Bumili ako ng 3 pirasong papel.
だいきんは いくらに なりますか。	How much will it cost?	Magkano lahat (ang halaga) ito?
この ほうほうを 「ひっさん」と いいます。	This way of doing calculation is called 'hissan' or the vertical form of calculation.	Ang tawag dito ay 'hissan' o ang patayong paraan ng pagkalkula.
どんな かけざんに なりますか。	how will we calculate/multiply?	Anong kalkulasyon ang gagamitin natin dito?
ひっさんの かたち にかきかえましょう。	Let's rewrite this into 'hissan' (the vertical form).	Isulat natin ito sa patayong paraan ng pagkalkula.

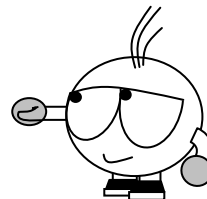
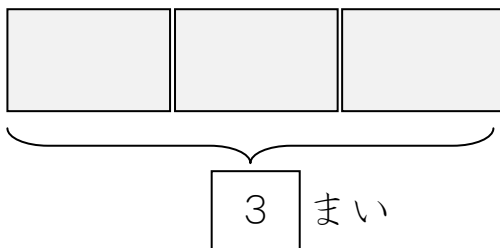
1

ぜんぶでいくら

1 まい 20 えんの がようしを 3 まい かいしました。

だいきんは いくらになりますか。

20
えん



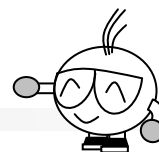
20 えんずつ 3 まいで いくらに なりますか。

これも かけざんが つかえます。

$$\boxed{} \times \boxed{} = \boxed{}$$

1 まいの ねだん かった かず だいきん

20 × 3 の かけざんは



20 × 3 の かけざんは 2 × 3 の かけざんが つかえましたね。

$$\boxed{2} \times \boxed{3} = \boxed{6}$$

$$\boxed{20} \times \boxed{3} = \boxed{}$$

1 まいの ねだん かった かず だいきん

2

ぜんぶでいくら

1まい 23 えんのがようしを 3まい かいしました。

だいきんは いくらに なりますか。

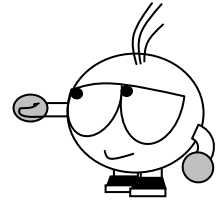
23

えん



3

まい

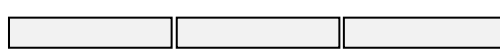


わけて あわせて

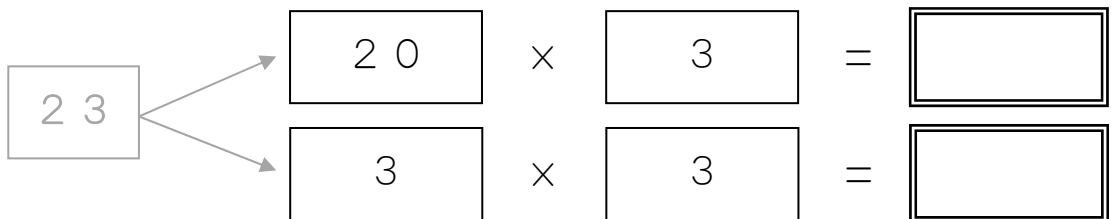
★23 えんを 20 えんと 3 えんに わけて かんがえましょう。

20 えん

3 えん



3 まい



[] の かずを たすと、23 × 3 の こたえに なります。

たして こたえを もとめましょう。

$$[] + [] = []$$

3

23×3の ひっさん

23×3は、つぎのようにけいさんすることができます。

1

23×3を たてに かきます。

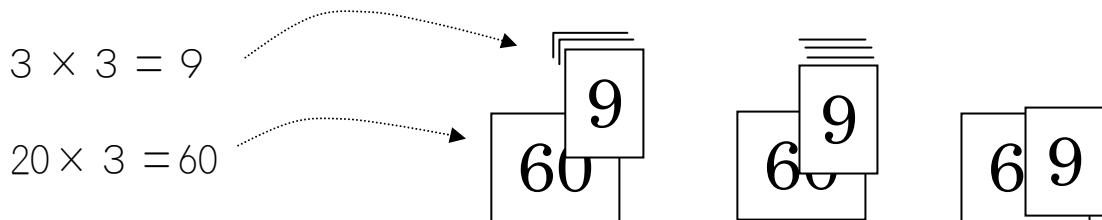
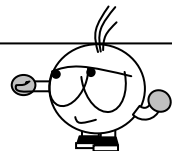
2

3×3のこたえ 9 を かきます。

3

3×2のこたえ 6 を かきます。

この ほうほうを 「ひっさん」といいます。



4

ぜんぶでいくら

1まい 34えんのがようしを 2まい かいしました。

だいきんは いくらに なりますか。

34

えん

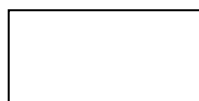


2 まい



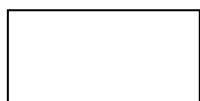
ひっさんで やってみましょう。

① どんな かけざんに なりますか。



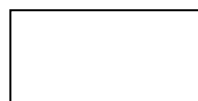
1まいの ねだん

×



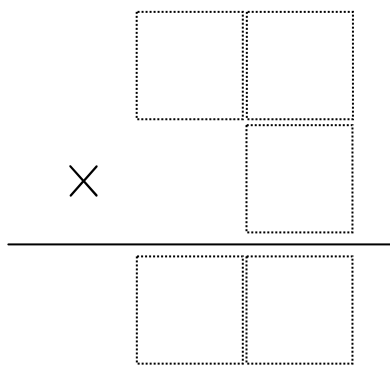
かった かず

=



だいきん

② ひっさんの かたちにかきかえましょう。



③ 2 × 4 の こたえをかきましょう。

④ 2 × 3 の こたえをかきましょう。

⑤ だいきんは いくらに なりますか。

5

ぜんぶでいくら

1まい 42えんのがようしを 3まい かいしました。

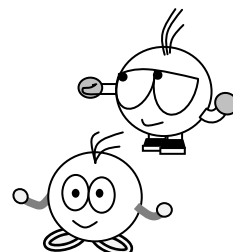
だいきんは いくらに なりますか。

42

えん



3 まい



ひっさんで やってみましょう。

① どんな かけざんになりますか。

[]

1まいの ねだん

×

[]

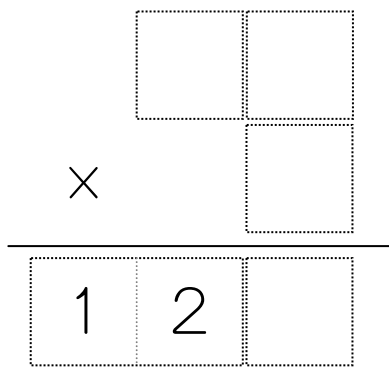
かった かず

=

[]

だいきん

② ひっさんの かたちにかきかえましょう。



③ 3 × 3 の こたえをかきましょう。

④ 3 × 4 の こたえをかきました。

⑤ だいきんは いくらになりますか。

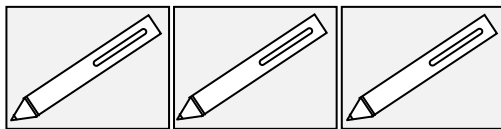
6

ぜんぶでいくら

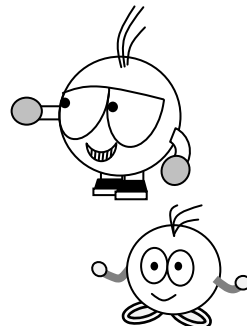
1 ぽん 92 えんの ボールペンを 3 ぽん かいしました。
だいきんは いくらに なりますか。

92

えん



3 ぽん

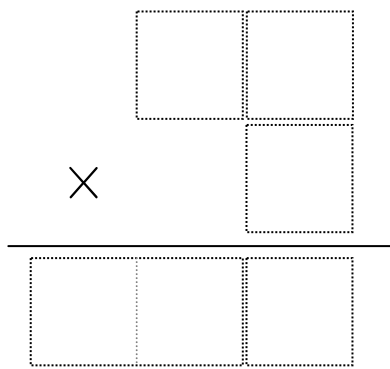


ひっさんで やってみましょう。

① どんな かけざんになりますか。

	×		=	
1 ぽんの ねだん		かった かず		だいきん

② ひっさんの かたちにかきかえましょう。



③ 3 × 2 の こたえをかきましょう。

④ 3 × 9 の こたえをかきましょう。

⑤ だいきんは いくらになりますか。